

第15回オープントーナメント北海道空手道選手権大会

～型試合要綱～

【試合形式】

1. 帯別によるトーナメント形式（3名の場合はリーグ戦）
2. クラス分け及び指定、選択型は下表のとおり。
3. 各クラスともに予選は、指定型を二人同時に行う。ただし、本戦での型で違う型を行う場合は白の選手から演じる。
4. 判定は3～5名の審判の旗判定で半数以上の旗が上がった選手の勝ちとする。
5. 予選引き分け延長の場合、他の型を行うこともある。（行う型は主審裁量）
6. 本戦引き分け延長の場合、他の型を行うこともある。（行う型は自己申告）
7. 延長は1回までとし、再延長は行わない。
8. 4名以下の出場クラスの場合、初戦より選択型を行います。
9. クラス別の帯は申込み時点の帯とし、昇級により帯色が変わった場合は旧帯での出場とする。

	予 選	本戦（準決勝・3位戦・決勝戦）
白・オレンジ帯	太極Ⅲ	太極Ⅲ・平安Ⅰ
青 帯	平安Ⅱ	平安Ⅰ・平安Ⅱ・突きの型
黄 帯	平安Ⅲ	平安Ⅱ・平安Ⅲ・突きの型・最破
緑 帯	平安Ⅳ	平安Ⅲ・平安Ⅳ・突きの型・最破・撃砕大
黒・茶帯	平安Ⅴ	平安Ⅳ・平安Ⅴ・撃砕大・撃砕小・十八・征遠鎮 臥龍・観空・五十四歩

【演武方法】

1. 白・赤の選手は試合場開始線前にて、正面、主審、お互いに礼をする。
2. 左右に分かれ主審が型の名を言った後「用意」「始め」の合図で開始し、「直れ」「休め」で自然体に戻る。
3. 選択型の場合の演武型が違う場合、一方の選手は試合場 場外で正座をして待つ。
4. 試合後開始線に戻り旗判定を行う。
5. 判定後は正面、主審、お互いに礼をして退場する。

【判定基準】

1. 正確さ
拳動の順序、技・気合の脱落がないかを判定する。
2. 気迫及び力の強弱
組手に必要な気力、気迫、力強さが見られるか。
3. 技の緩急
型を行う上で動作一つ一つに減り張りがあるか。
4. 呼吸の調整
拳動を行うことで呼吸に乱れはないか。
5. 表現力
組手を型で表現するに当たり技の意味を理解し、演じることが出来ているか。